

## 文字を数に置きかえる代入

文字を使った式では、文字を数に置きかえることをだいにゅう代入するという。

$2x + 3$  の式の  $x$  に 5 を代入すると、

$$\begin{aligned} & 2x + 3 \\ & = 2 \times 5 + 3 \\ & = 10 + 3 \\ & = 13 \end{aligned}$$

このとき、 $x$  に代入した数を、文字の値という。

また、文字の値を代入して計算した結果を、式の値という。

## 式の値の求め方

文字を使った式の値を求めるには、文字の値を代入して計算する。

- 1  $x=2$  のときに、式  $4x - 5$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} & 4x - 5 \\ & = 4 \times 2 - 5 \\ & = 8 - 5 \\ & = 3 \end{aligned}$$

- 2  $x=4$  のときに、式  $3 + (-x)^2$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} & 3 + (-x)^2 \\ & = 3 + (-4)^2 \\ & = 3 + 16 \\ & = 19 \end{aligned}$$

- 3  $x = -3, y = 5$  のときに、式  $2x - 3y$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} & 2x - 3y \\ & = 2 \times (-3) - 3 \times 5 \\ & = -6 - 15 \\ & = -21 \end{aligned}$$